

後志地区 教育経営研究会

- 1 目的 北海道小学校長会、北海道中学校長会及び各地区校長会が抱えている教育経営上の具体的な課題を取り上げ、校長相互の協議や理解をもとに、校長としての職能向上を図る。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会
- 3 後援 後志教育局 後志町村教育委員会協議会
- 4 主管 後志小中学校長会
- 5 日時 平成30年8月7日(火)
- 6 会場 倶知安町 ホテル第一会館
- 7 参加者 後志管内小中学校長会員他(59名)
- 8 日程
12:30~13:00 受付
13:00~13:15 開会式
13:15~14:15 全体会
14:20~15:30 分科会
15:35~15:45 閉会式



9 全体会

○一般情勢報告

北海道小学校長会 事務局次長 梶野祐樹氏

・道小・道中の各種研修会議に関する説明，教育情勢全般についての報告

○後志地区からの質問・要望事項に対する回答

北海道小学校長会 経営部幹事 設楽正敏氏

北海道中学校長会 情報部幹事 立花和実氏

〈質問・要望〉

- ・期限付職員の人材確保について
- ・指導方法工夫改善加配及び教職員定数の改善について
- ・働き方改革「北海道アクションプラン」及び業務の簡素化について

10 グループ討議

参加者を小4，中3グループに分け，討議の柱に沿ってグループ討議を行った。各グループで話し合われた内容は以下の通り。

(1) 討議の柱1『働き方改革に向けた業務改善をどのように図るか』

①退勤時間の取組について

- ・退勤時刻を意識した業務推進
- ・タイムレコーダーの導入(教育委員会が管理)
- ・定時退勤日の設定(超過勤務をした場合の業務内容の点検，退勤時刻の申告等)

※定時退勤日を毎週設定しているが，定着については不十分(業務量が減らない中では難しい)

②業務軽減について

- ・朝の打ち合わせの工夫(特定の曜日以外は廃止，緊急の場合は実施)
- ・職員会議の工夫(分掌の複数配置，分掌会議や調整会議の活用，ペーパーレス化)
- ・業務分担による負担軽減(朝学習のチェック，プリント印刷等)
- ・教材の工夫(既製品の活用，作成したもので使い回せるものはデータ保存・共有)
- ・町内各種会議の精選

- ・地域行事の祭典巡視等の廃止・整理（変形労働時間制の活用）
- ・スポーツ少年団の整理（スポーツ少年団担当教員を地域に移行・活動日の縮小）
- ・長期休業日の学習会等の取組（教育委員会の協力・学生ボランティアの活用）
- ・専科配置は担任が外れられるメリット
- ・CSを進めることが業務軽減に（CSコーディネーターが外部との連携等）

※意識改革が必要 ※変形労働時間の対象拡大

③部活動について

- ・部活の休養日の設定と部活動時間の制限（難色を示す教員も）
- ・担当者の複数配置（教員数の不足→町で指導員を採用・部活動数の減少が必要）

※アクションプランの中に部活動が大きく明記されているので、部活動の調整は急務

④アクションプランの実施について

- ・アクションプランの作成・周知の工夫（教育委員会からの発信）
- ・働き方の意識改革（アクションプランの目的周知と環境づくり、学校経営計画へ盛り込む等意識付けを図る）

(2) 討議の柱2 『社会に開かれた教育課程の実現をどのように図るか』

①地域とのつながりについて

- ・地域づくりと学校づくりは車の両輪
- ・学校組織・教育課程の整備（分掌への位置付け、地域教育資源の活用）
- ・学校の教育活動への理解の深化（グランドデザイン、双方向の発信、わかりやすい表現）

②異校種間連携について

- ・幼小中の連続性を踏まえた意図的な取組
（町村のコーディネーターの重要性、教育課程の整合性）
- ・学校支援本部（共同本部）の活性化
- ・小中連携の進行状況（出前授業、共通の学習規律・小中合同研修会、教育課程についての会議）

※小中兼務発令をしてくれると連携が進めやすい（現状では無理）免許外解消にもつながる

③CSについて

- ・CSの活用（意見集約、地域と学校の相互の支援関係、地域の活性化）
- ・CS専門コーディネーターの活用（地域の方が望ましい、人材の確保）
- ・CSのメリット、デメリットの整理（地域が求める教育像）

※CSで目指しているところが社会に開かれた教育課程であり、有効活用が今後の学校教育の鍵となる（学校から外へ）

11. 閉会式

主催者を代表して後志小中学校長会副会長の挨拶で閉会